

皆さんお疲れ様です。西北五支部の中田です。先月から今月にかけての支部の活動について、いくつか報告させていただきます。

10月19日(土) 西北五三師会ボウリング大会 イズミボウリングセンター

今回も薬剤師会、歯科医師会、医師会の先生方約30名によりボウリングと、その後の懇親会を通して交流を深めることが出来ました。

10月23日(水) 定例研修会「薬薬連携と在宅医療について」 五所川原市中央公民館

(株)バイタルネット 地域医療担当の石川さんによる他県で行われている事例報告を聞いて、薬薬連携の現状や今後の課題についても学びました。

10月24日(木) 西北五てんかんフォーラム プラザマリュウ五所川原

最近のてんかんの治療について、つがる総合病院の菊池先生、東邦大学医療センター大森病院の本多先生の講演を聞いて学びました。

これまでは部分発作、全般性発作共に第一選択薬はフェニトイン、バルプロ酸ナトリウム等だったが、副作用が少ないため最近はいーケプラ®(成分名レベチラセタム)が第一選択薬になりつつあるとのことでした。

てんかん発作時の脳のCT画像も見ることが出来たので、とても勉強になりました。

11月8日(金) 西北五三師会、医科歯科合同研修会 五所川原市民学習情報センター

今回は「青森県の糖尿病と歯周病に関する合同研修会」ということで、つがる総合病院の近澤先生、二川原先生、てらだクリニックの寺田先生、津島歯科の津島先生による講演を聞いて学びました。

糖尿病の基礎的なお話、合併症(腎症・網膜症・神経障害等)と対策について、死亡率からみた糖尿病、歯周病と全身疾患の関わりについてといった内容でした。

歯周病は慢性炎症として血糖コントロールに悪影響を及ぼすことが疫学的にも示されていて、歯周病の重症度が高いほど血糖コントロールが困難になるということで、歯の治療が進むと血糖値も改善していくという症例からもそれは感じる事が出来ました。

口の中の健康は全身の健康につながるということ、薬局でももっと患者さんに伝えて指導に活かしていこうと思いました。